

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森屯田 児童発達支援 I		
○保護者評価実施期間	令和7年11月3日		～ 令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日	○公表日	令和8年3月10日

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体操クラブのプロセスを軸に考えられた運動療育	職員間で体操補助時に効果的なアプローチがあった際は情報交換をし、支援の一体化を図っている。	体操補助の練習会の頻度を増やし、職員全体のスキル向上を目指す。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない	働いている保護者が多く、事業所の営業時間内に保護者が集まることが難しい。	日曜日に保護者会の計画をたてていく。 参加が難しい家庭に関してはお便りなどで内容を伝える。 保護者会に限らず親子イベントを計画する。
2			
3			

事業所名 ソレイユの森屯田 児童発達支援Ⅰ

公表日 令和8年3月10日

利用児童数

44

回収数

29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1	0	0	・広くてしっかり確保されていると思う ・活動スペースは十分確保されていると思う ・保育室は少し狭いと感じる。	・収納方法の改善等で活動スペースの確保に努めている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2	0	4	・先生達が5人ほどいて適切だと思う。 ・まだ利用して間もない為、適切であるか判断しかなる。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2	0	5	・運動以外の活動の場を見学していないので一度見たい。 ・運動するスペースや休憩、おもちゃ等で遊べるスペースが分かれていた。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2	0	4	・すっきりとした空間。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2	0	1	・通所2回目から絵カードを用意してくれて感激した。 ・専門的支援の方も計画を作成してくれている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2	0	1		・今年度は年長児の家庭を対象にした為、今後は他家庭に向けた内容を検討していきたい。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	1	・保護者の意見を聞いた上で支援計画が作成されている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	0	3	・具体的に支援内容が設定されている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	1	・毎日利用しても楽しめるよう工夫されていると思う。 ・祝日の特別な内容は楽しいと言っている。 ・毎週変化のある活動プログラムになっている。	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	1	3	13	・話は伺っている。 ・交流する機会はない。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0	・契約時に丁寧に説明を受けた。 ・最初にしっかり説明があった。		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	1	0	・支援計画を見ながら内容の説明がされている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	1	10	・入学前説明会があった。 ・家族が参加できる機会等はない。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	26	3	0	0	・丁寧に毎回説明して頂いている。 ・毎回お迎え時に今日の様子を教えてくださいのため安心する。 ・毎回どんな支援内容を行ったのか子どもの様子を伝えてくれる。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	8	1	3	・入所してあまり月日がたっていない為分からない。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1	0	0	・入所してあまり月日がたっていない為分からない。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	4	17	・入所してあまり月日がたっていない為分からない。 ・必要性を感じていない。 ・発表会や保護者に茶話会など実際に見たり聞いたりする場があればよいと思う。	・今年度は年長児の家庭を対象にした為、今後は他家庭に向けた内容を検討していきたい。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2	1	5	・今までそのような事態が無かった。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	1	4		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	0	0	6	・活動の内容は連絡帳で理解している。 行動内容はこちらから聞いている。 ・LINEで活動内容を発信している。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	2		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	0	0	8	・利用し始めたばかりの為、まだ判断し兼ねる。
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	3	・定期的に避難訓練を行っている。 ・利用し始めたばかりの為、まだ判断し兼ねる。	
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	2	0	3		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1	0	4	・今までそのような事態が無かった。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	3	0	1	・通所する日はいつもウキウキしている。 ・楽しみに通所している（特にイベントは楽しみにしている） ・まだ行くときは不安があるが帰ってきたら楽しかったと言っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	0	1	・通えることを心から良かったと思っている。 ・本人にあった声掛け、配慮をもらえて満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ソレイユの森屯田 児童発達支援Ⅰ

公表日

令和8年3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森屯田 児童発達支援Ⅱ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日		○公表日 令和8年3月10日

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員が子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、個別のニーズに応じた支援を提供して療育を行っている。	・子ども一人ひとりの発達段階や興味に合わせて支援内容を工夫している。 ・保護者からの意見や相談を積極的に受け入れ、ニーズに応じた助言や支援を心がけている。	・職員の研修をさらに充実させ、知識を取り入れていく。
2	・定期的に療育の様子を見学していただき、保護者との連携を大切に、相談や育児支援の場を設けている。	・定期的な見学の時間を保護者の都合に合わせて調整し、参加しやすい環境づくりを心がけている。見学以外にも個別面談や電話・メールでの相談対応を積極的に行い、保護者の声を支援計画に反映させている。	・見学や相談の開催日時を増やすなど、参加しやすさの工夫を進める。見学時や相談会の内容をまとめた資料を作成し、育児に役立つ情報を継続的に提供していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学習面のニーズに応えたいという家庭からの要望に十分に対応できていない。	・学習面のニーズに十分応えられていない。	・運動療育に加え、学習や生活面の支援を取り入れる。 ・家庭と連携した教材や活動内容の工夫を進め、支援の充実を図る。
2	・保護者会や茶話会は実施しているが、参加できない場合もあり、保護者同士・きょうだい同士の交流の機会が十分でない。	・年長児のご家庭に限定されていたため、交流の機会が十分ではない。	・保護者会や茶話会の開催回数や時間帯を増やし、より参加しやすくする。
3			

事業所名	ソレイユの森屯田 児童発達支援Ⅱ
------	------------------

公表日 令和8年3月10日

利用児童数

38

回収数

30

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		1	・子どもの手がかり具合によっては職員 の配置が足りないように感じる。	・職員配置については、基準を満たした 体制を整えているが支援内容や子どもの 状況によっては手厚さが必要と感じられ る場面があることも受け止めている。支 援の質の向上を意識し、必要に応じて職 員間の連携などを行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2		4		・運動を中心とした支援を行っているた め、設備面での完全なバリアフリー化に は限界がある。必要に応じて職員による 見守りや個別の声かけ、活動内容の調整 等により安全面への配慮を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	1		1		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	29	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	30					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	29	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	3		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	3			・全てではないが、計画に沿わない支援 があってもよいと思う。	・計画を支援の基本として行っている が、子どもの体調やその日の情緒、興味 関心等に応じて、内容を柔軟に調整して いる。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	26	2		2		・運動を中心とした支援を行っているた め、活動内容が一定の枠に見える場合が ある。 同じ活動であっても、ルールや使用する もの、関わり方を変えることで、子ども 一人ひとりの発達段階に応じた支援を 行っている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	18	2	5	5		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	30					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	23	3	1	3	・ペアトレをしてもらいたいと思う。 ・あれば参加してみたい。	・現在は個別の育児相談や助言を行って いるが、今後は保護者の方が参加しやす い形での家族支援や情報提供の機会につ いて検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	29	1				

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2	1		・面談は少ないが相談するといつも丁寧に助言してもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	5	4	・参加できないときもあるが保護者会が行われている。 ・兄弟が参加できる夏祭りなど家族で参加できるイベントなどがあると保護者同士も知り合うきっかけになると思う。 ・保護者会などもっと沢山あるといいなと思う。	・今年度は年長児を対象とした茶話会を開催した。 ご意見を踏まえ、今後は保護者同士の交流につながる取組を検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1			・相談すると助言をしてもらっているが難しいのかなと感じることもある。	・相談には随時対応し、助言や支援を行っている。説明の仕方を工夫するとともに、必要に応じて時間を確保し、丁寧に対応できる体制づくりに努めていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		3	・発生を想定した訓練が行われているかわからない。	・各マニュアルを策定し定期的に訓練を実施しているが、保護者への周知については十分に行っていない。今後はマニュアルの概要や訓練結果等の周知・説明の方法を検討していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			3	・定期的に訓練されているかわからない。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29			1	・安全の確保がされたうえで支援が行われている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26			4	・説明がされている。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29			1	・安心も信頼もしている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29			1	・かなり楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				・色々な体験をさせてもらい、本人の自信につながっている。	

事業所名	ソレイユの森 屯田 児童発達支援Ⅱ				公表日	令和8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			・すべての意見を即座に業務改善に反映することは難しいが、優先度や実現可能性に応じて改善策を検討していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価の実施について検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			・保護者を通して子どもの思いを客観的に分析し、計画案を作成している。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・保護者のニーズがあれば検討をしていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・現在は個別の育児相談や助言を行っているが、支援プログラムを組んで情報提供等を行っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			・きょうだい同士が交流する場を設けるよう検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・地域の住民を招待するイベント等は行っていないが、今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・各マニュアルが策定されているが、保護者に対して各マニュアルの概要や訓練結果等の周知・説明が不十分なため、今後その方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・該当なし